

# アンケート調査報告書

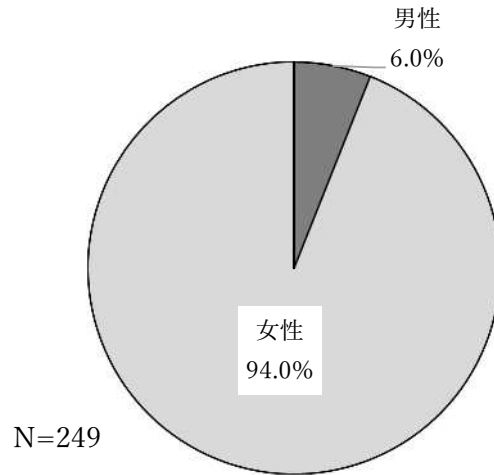
## 【発達障害のある人の家族】

---

【A アンケートにお答えいただく方（あなた）の基本的なことについてお聞きします】

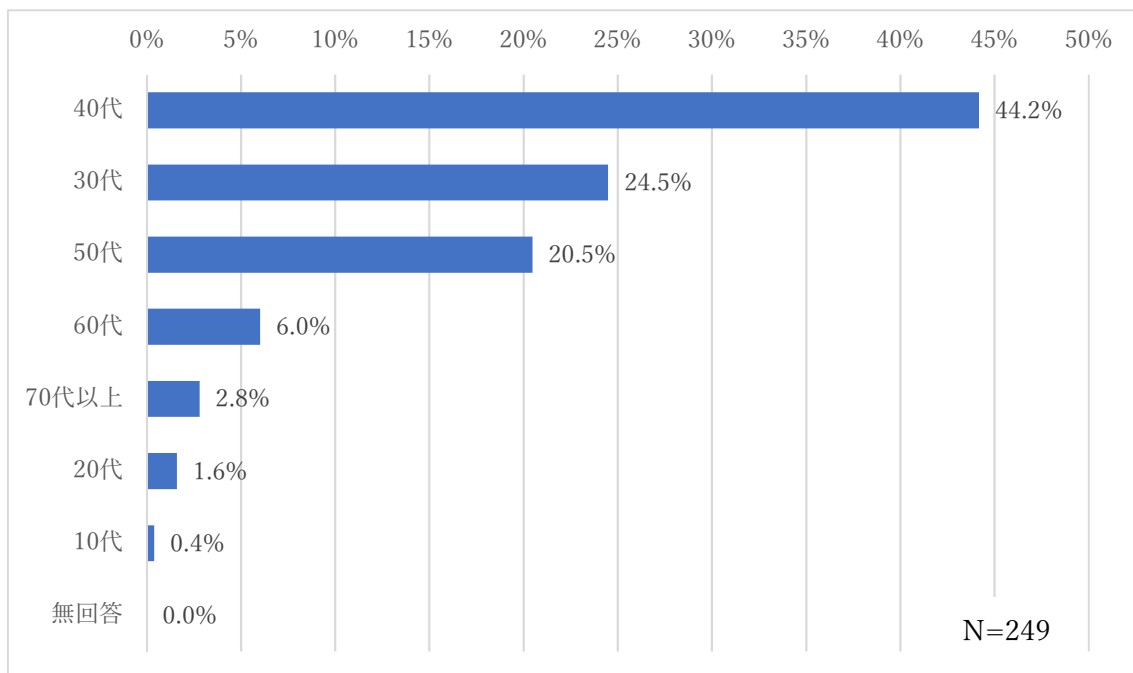
問1 お答えいただく方（あなた）の性別について、お答えください。

性別は、「男性」（6.0%）、「女性」（94.0%）となっている。



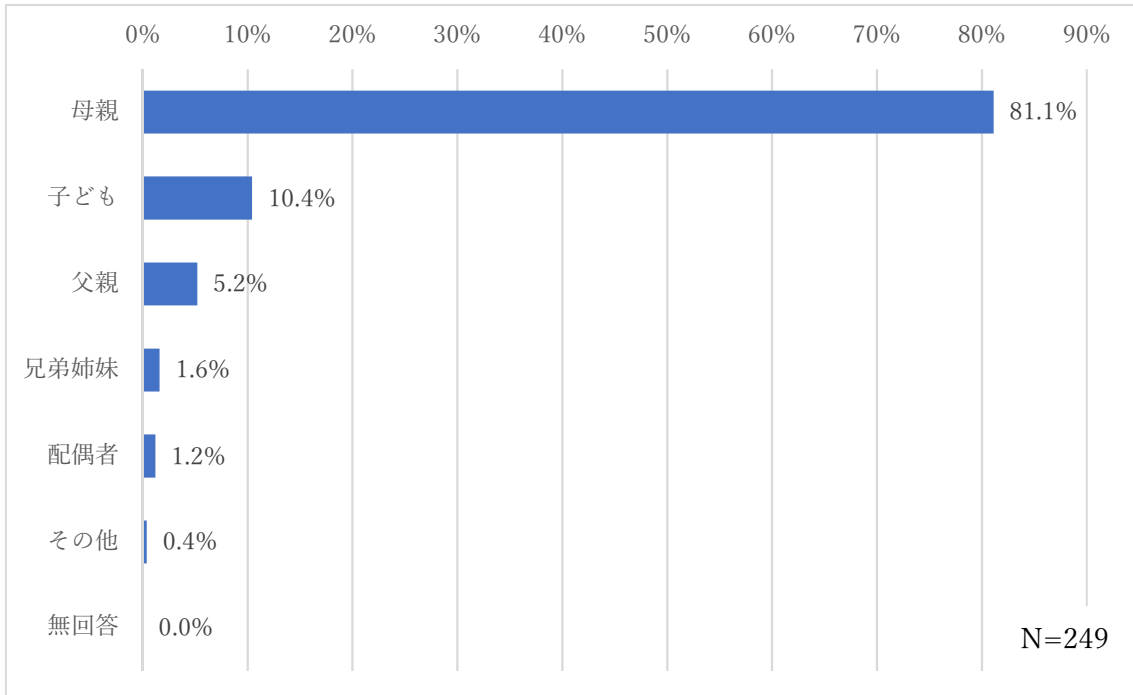
問2 お答えいただく方（あなた）の現在の年齢について、お答えください。

年代別は、「40代」（44.2%）が最も多く、次いで「30代」（24.5%）、「50代」（20.5%）となっている。



**問3 発達障害のある方（ご本人）から見た、あなたの続柄をお答えください。**

続柄は、「母親」（81.1%）が最も多く、次いで「子ども」（10.4%）、「父親」（5.2%）となっている。

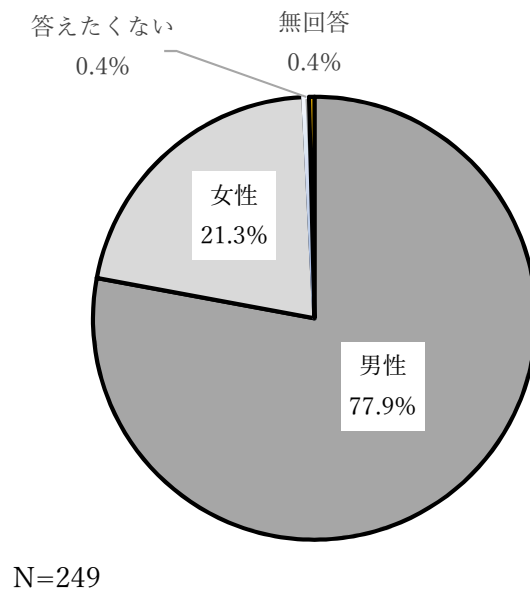


（その他）本人

**【B ご本人の基本的なことについて伺います】**

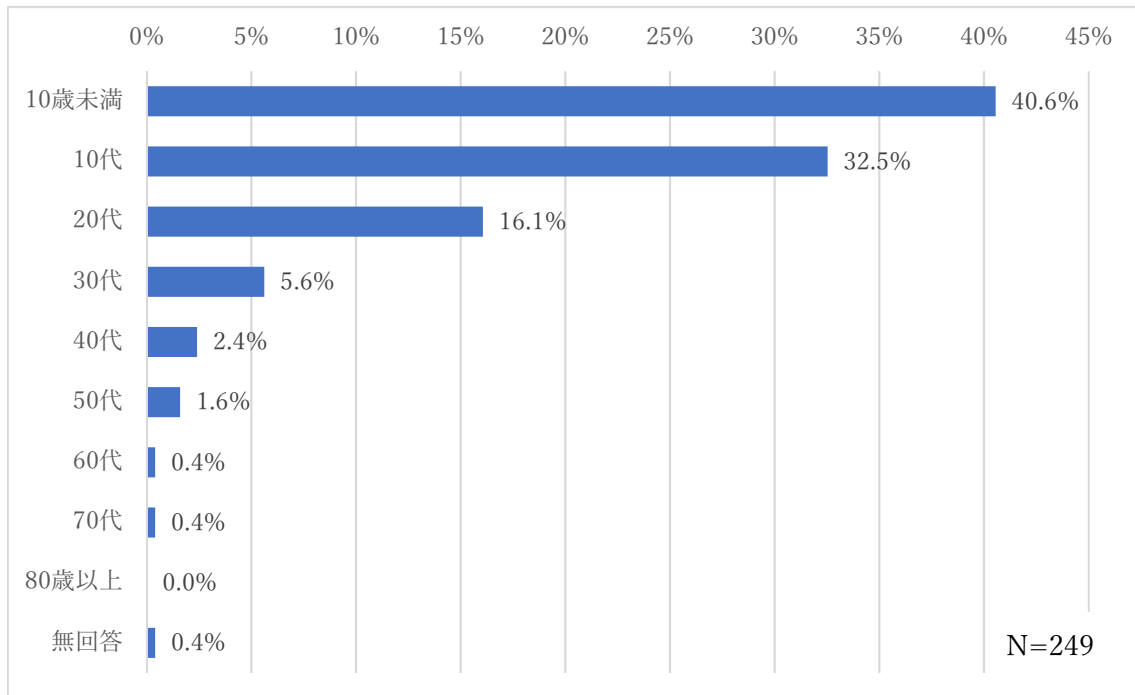
**問4 ご本人の性別について、お答えください。**

ご本人の性別は、「男性」（77.9%）、「女性」（21.3%）となっている。



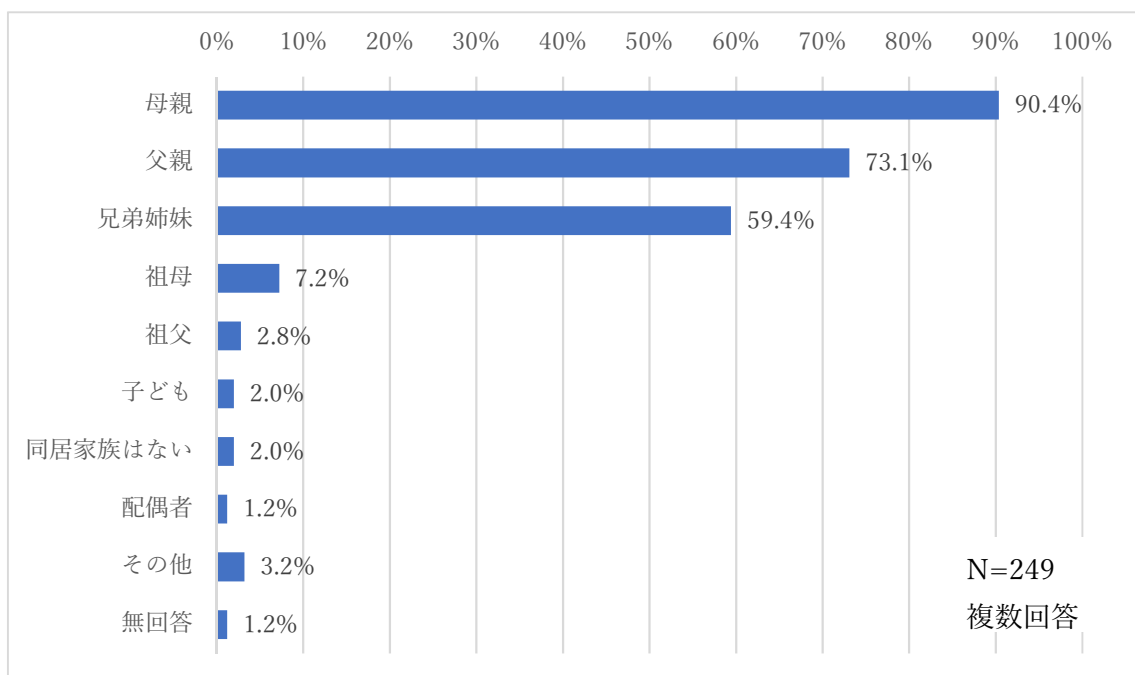
**問5** ご本人の現在の年齢について、お答えください。

ご本人の現在の年齢は、「10歳未満」(40.6%)が最も多く、次いで「10代」(32.5%)、「20代」(16.1%)となっている。



**問6** 現在、同居しているご家族について、当てはまる方をすべて選んで下さい。

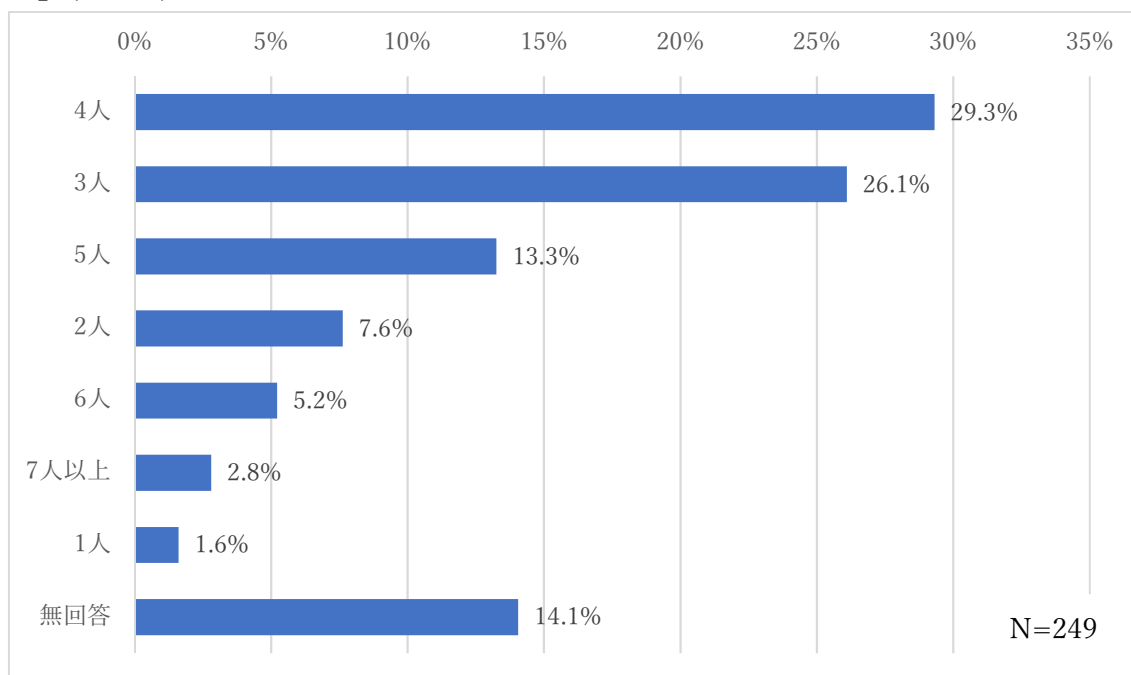
同居している家族は、「母親」(90.4%)が最も多く、次いで「父親」(73.1%)、「兄弟姉妹」(59.4%)となっている。



(その他) グループホーム (2)、曾祖母、叔母家族、叔父 (2)

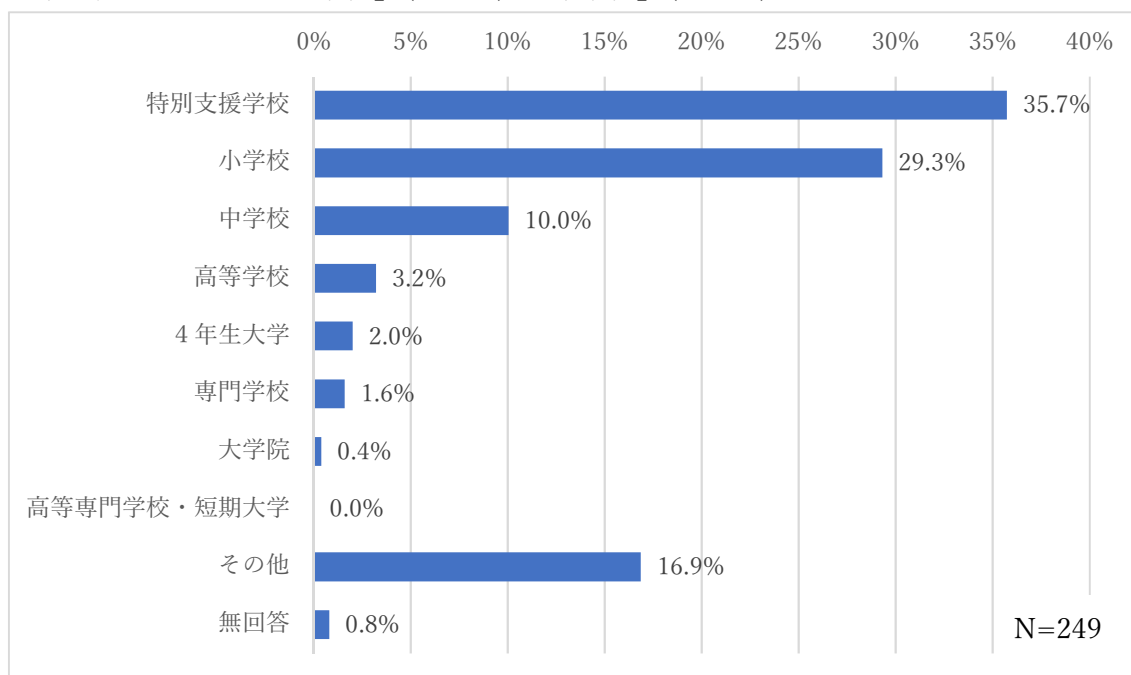
問7 現在、同居しているご家族は、全部で何人ですか。あなた自身も含めた人数をお答え下さい。

同居している家族の人数は、「4人」(29.3%)が最も多く、次いで「3人」(26.1%)、「5人」(13.3%)となっている。



問8 ご本人が最後に卒業(中退を含む)した、または現在通っている学校はどれですか。当てはまるものをひとつ選んでください。

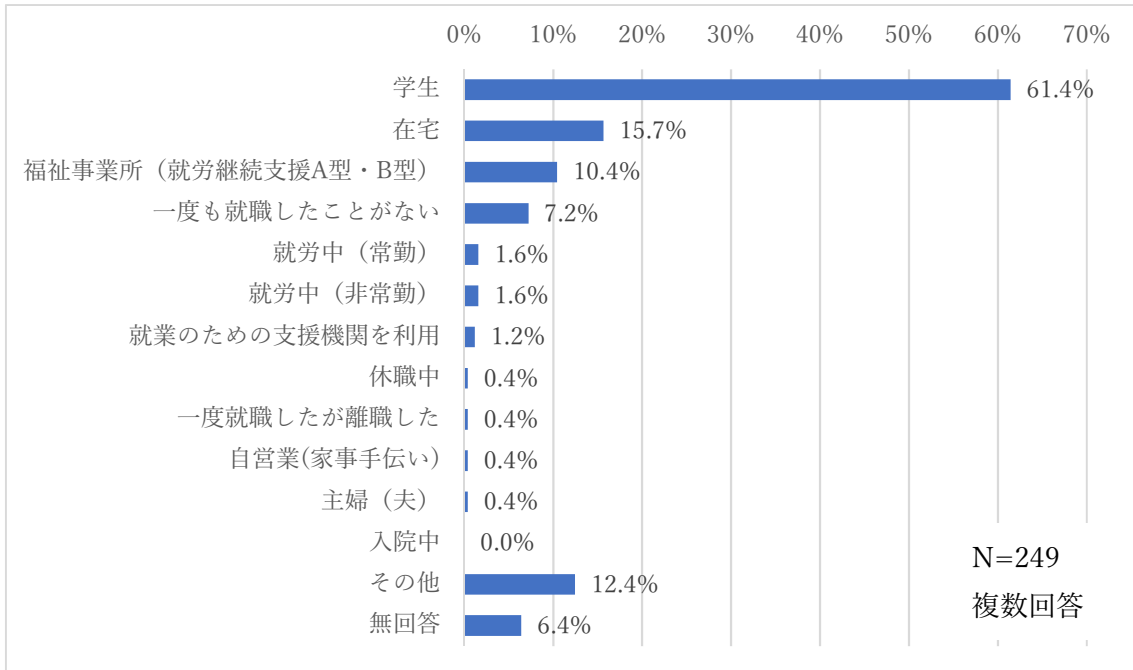
最後に卒業(中退を含む)した、または現在通っている学校は、「特別支援学校」(35.7%)が最も多く、次いで「小学校」(29.3%)、「中学校」(10.0%)となっている。



(その他) 幼稚園 (13)、保育園 (2)、ひまわり学園 (11)、児童発達支援 (10)、福祉事業所 (1)、予備校 (1)、6年生大学 (1)

問9 ご本人の現在の状況をお答えください。当てはまるものをすべて選んでください。

現在の状況は、「学生」(61.4%)が最も多く、次いで「在宅」(15.7%)、「福祉事業所(就労継続支援A型・B型)」(10.4%)となっている。

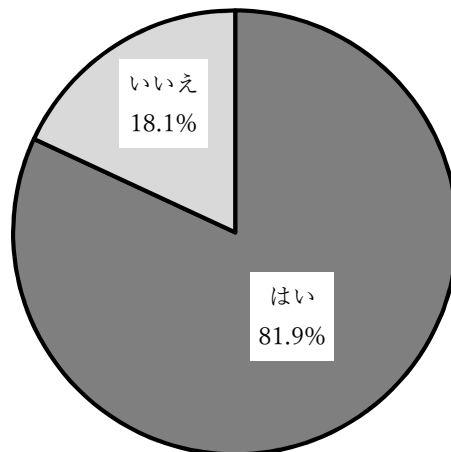


(その他) 幼児(12)、ひまわり学園(2)、児童発達支援(2)、事業所(生活介護)(14)

【C 発達障害の診断や医療機関の利用状況について伺います】

問10 ご本人は医療機関で発達障害の診断を受けていますか。

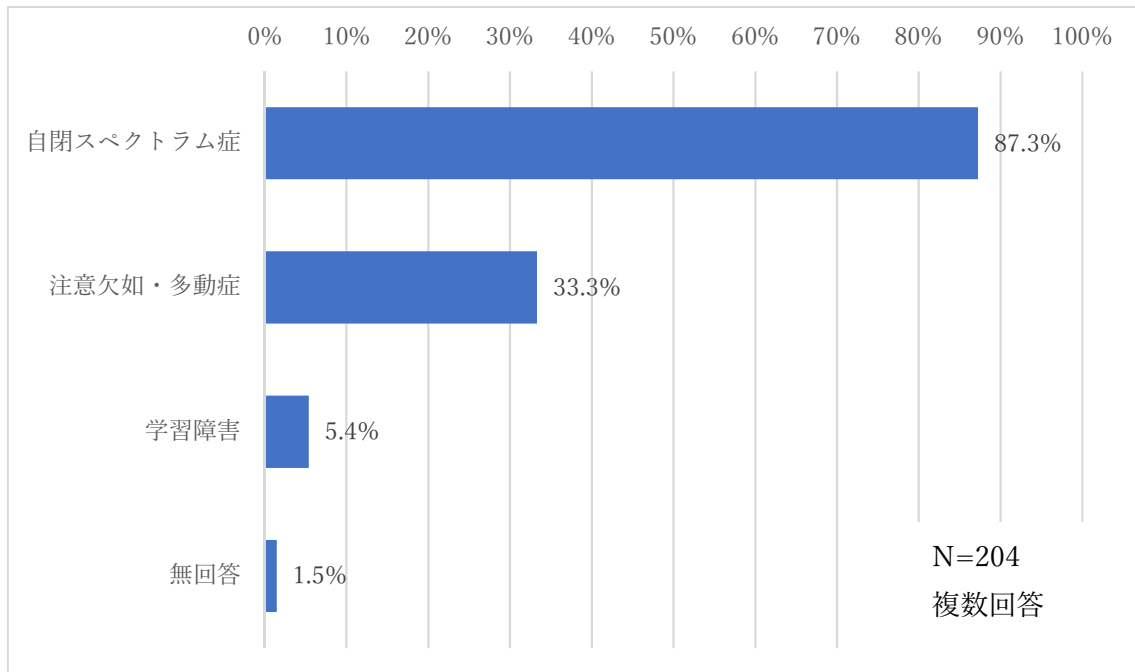
発達障害の診断を受けているかについては、「はい」(81.9%)、「いいえ」(18.1%)となっている。



N=249

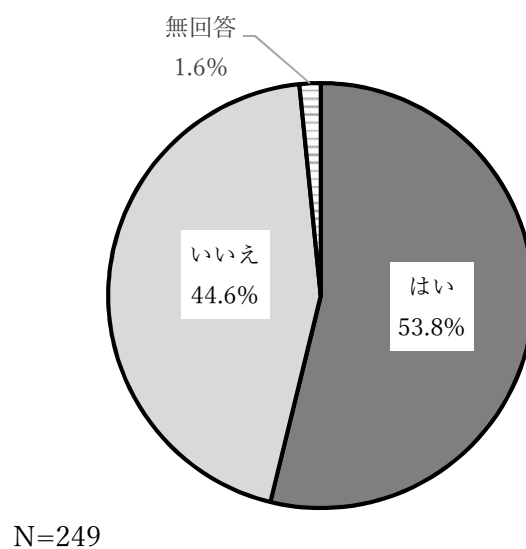
副問10-1 問10で「はい」と答えた方におたずねします。どのような診断を受けていますか。診断名として当てはまるものをすべて選んでください。

診断名は、「自閉スペクトラム症」(87.3%)が最も多く、次いで「注意欠如・多動症」(33.3%)、「学習障害」(5.4%)となっている。



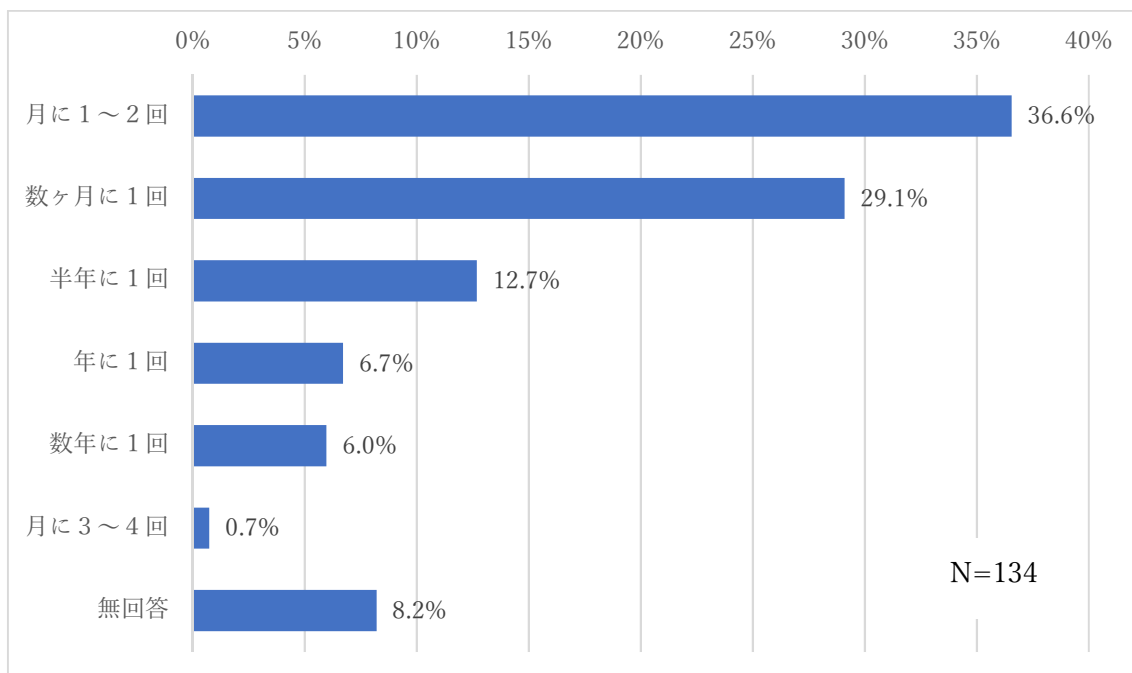
問11 現在、ご本人は発達障害に伴う症状の治療のため、定期的に医療機関に通っていますか。

治療のため、医療機関に通っているかについては、「はい」(53.8%)、「いいえ」(44.6%)となっている。



副問 1 1-1 問 1 1 で「はい」と答えた方におたずねします。どのくらいの頻度で受診していますか。あてはまるものをひとつ選んでください。

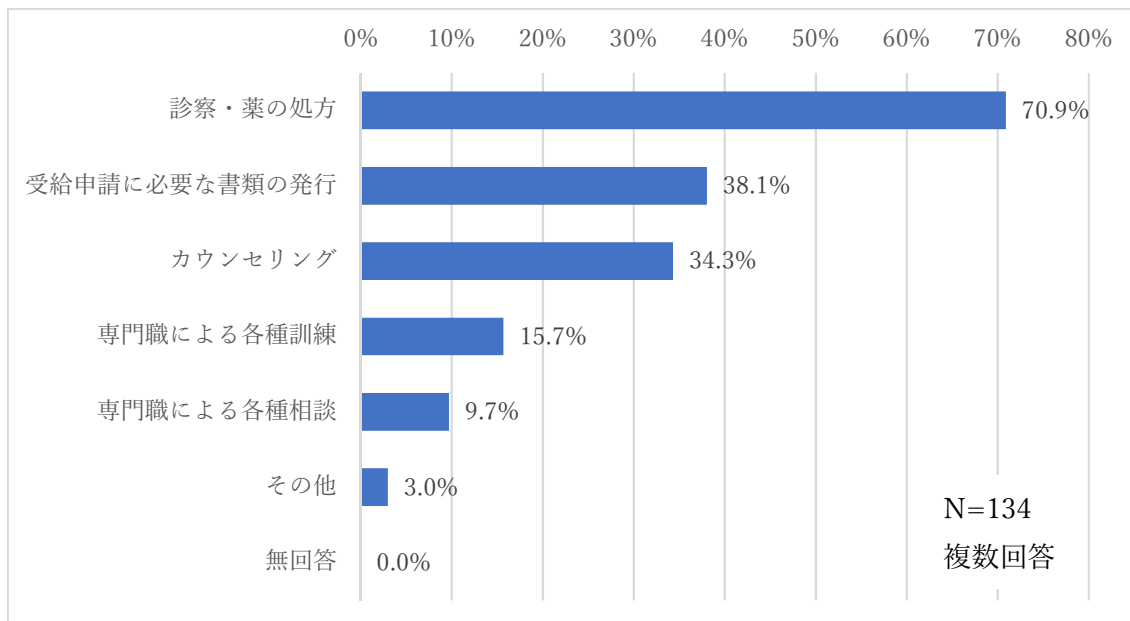
受診の頻度は、「月に 1～2 回」(36.6%) が最も多く、次いで「数ヶ月に 1 回」(29.1%)、「半年に 1 回」(12.7%) となっている。





副問 1 1-2 問 1 1で「はい」と答えた方におたずねします。現在、医療機関ではどのような治療を受けていますか。当てはまるものをすべて選んでください。

どのような治療を受けているかについては、「診断・薬の処方」(70.9%)が最も多く、次いで「受給申請に必要な書類の発行」(38.1%)、「カウンセリング」(34.3%)となっている。



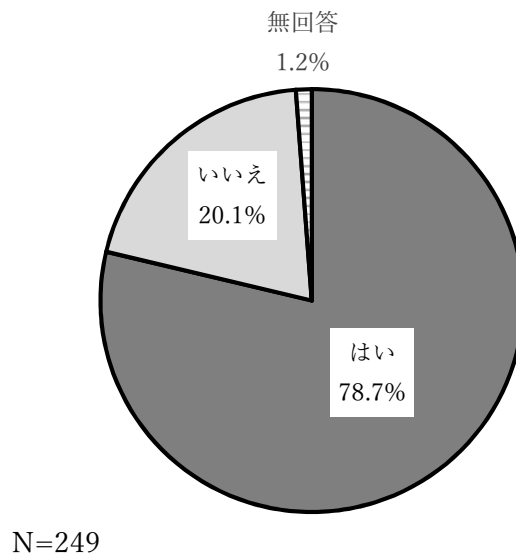
(その他)

- ・経過観察、言語訓練
- ・小学校で誹謗中傷にあい、子供の心のケアと私の療育のサポートのアドバイスを療育センターで受けている
- ・数ヶ月に1度のペースで療育センターに通っていたが、本人も嫌がる時もあるし、新型コロナウイルスが広がってから1年ちょっと通ってないままになっている。

【D 障害福祉サービスの利用状況及び障害者手帳の取得状況について伺います】

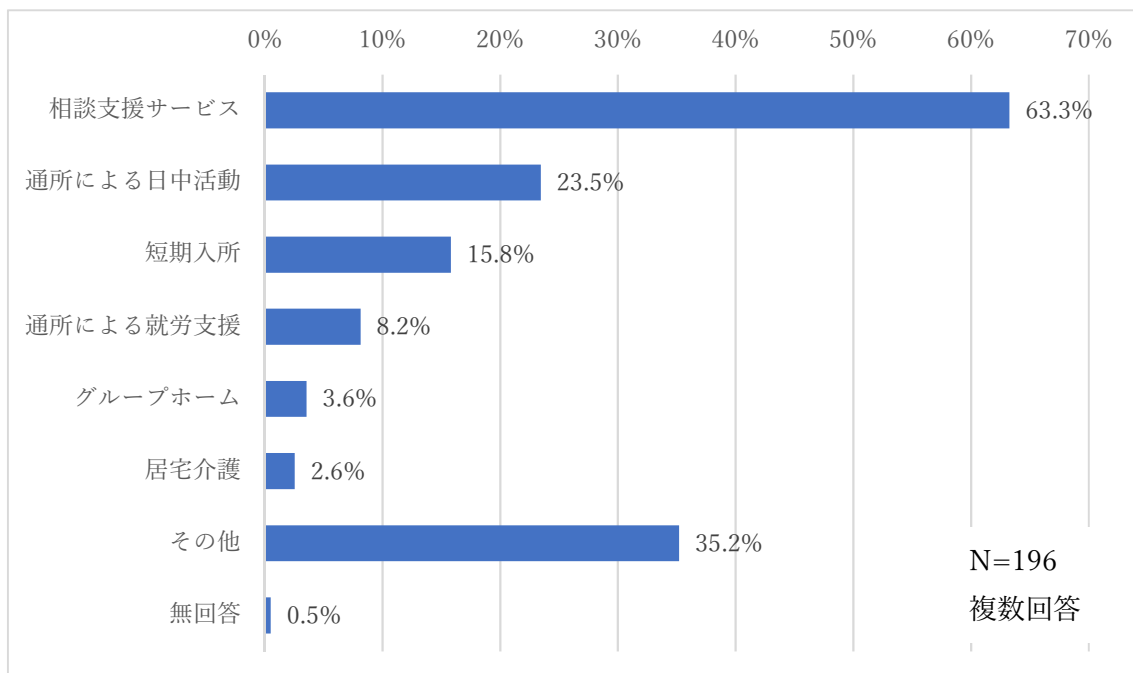
問12 現在、ご本人は障害福祉サービスを利用していますか。

障害福祉サービスを利用しているかについては、「はい」(78.7%)、「いいえ」(20.1%)となっている。



副問12-1 問12で「はい」と答えた方におたずねします。どのようなサービスを利用していますか。当てはまるものをすべて選んでください。

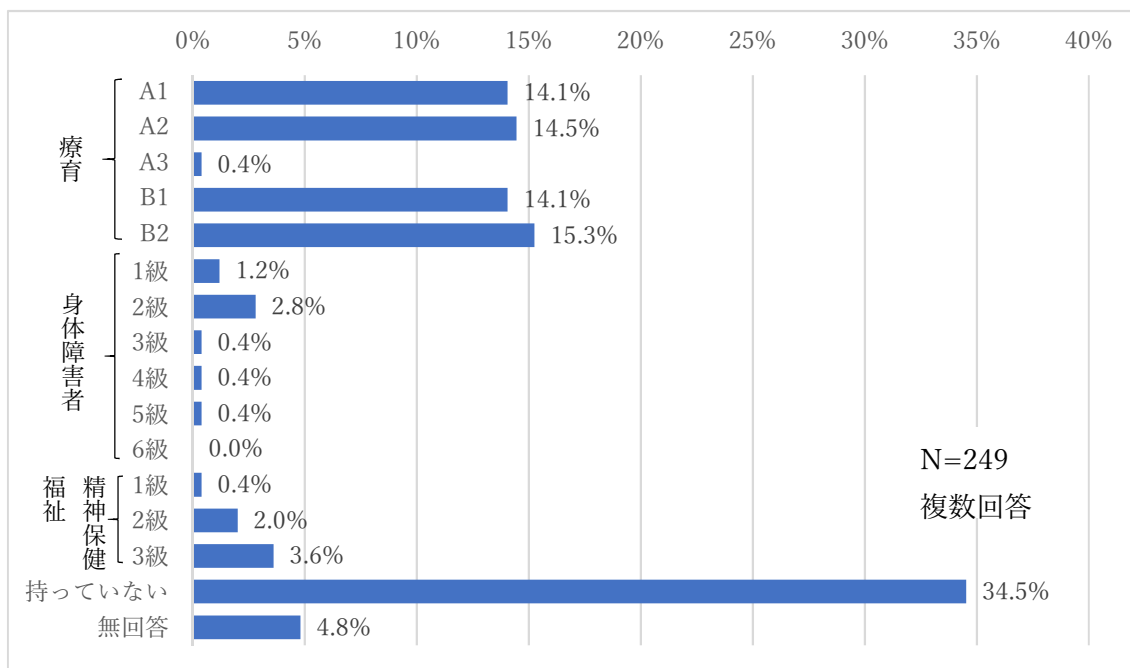
どのようなサービスを利用しているかについては、「相談支援サービス」(63.3%)が最も多く、次いで「通所による日中活動」(23.5%)、「短期入所」(15.8%)となっている。



(その他) 放課後等デイ (57)、児童発達支援 (5)、短時間通園 (1)、ひまわり学園 (2)、つばさ (1)、療育 (2)、日中一時 (1)

問13 現在、ご本人は障害者手帳を持っていますか。当てはまるものをすべて選んでください。

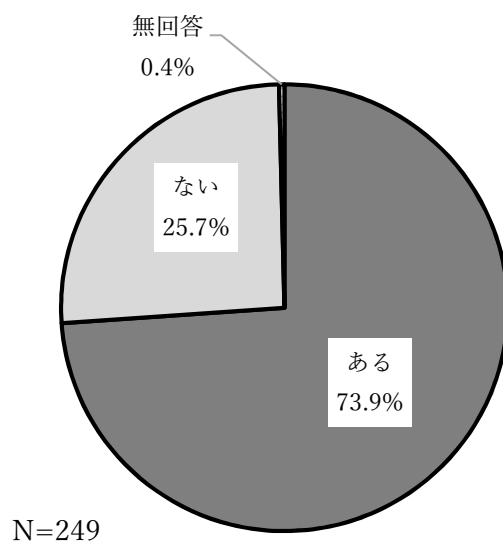
障害者手帳については、「持っていない」(34.5%)が最も多く、次いで「療育手帳 B2」(15.3%)、「療育手帳 A2」(14.5%)となっている。



【E 日常生活を支える「基本の手立て」について伺います (その① 特性の理解)】

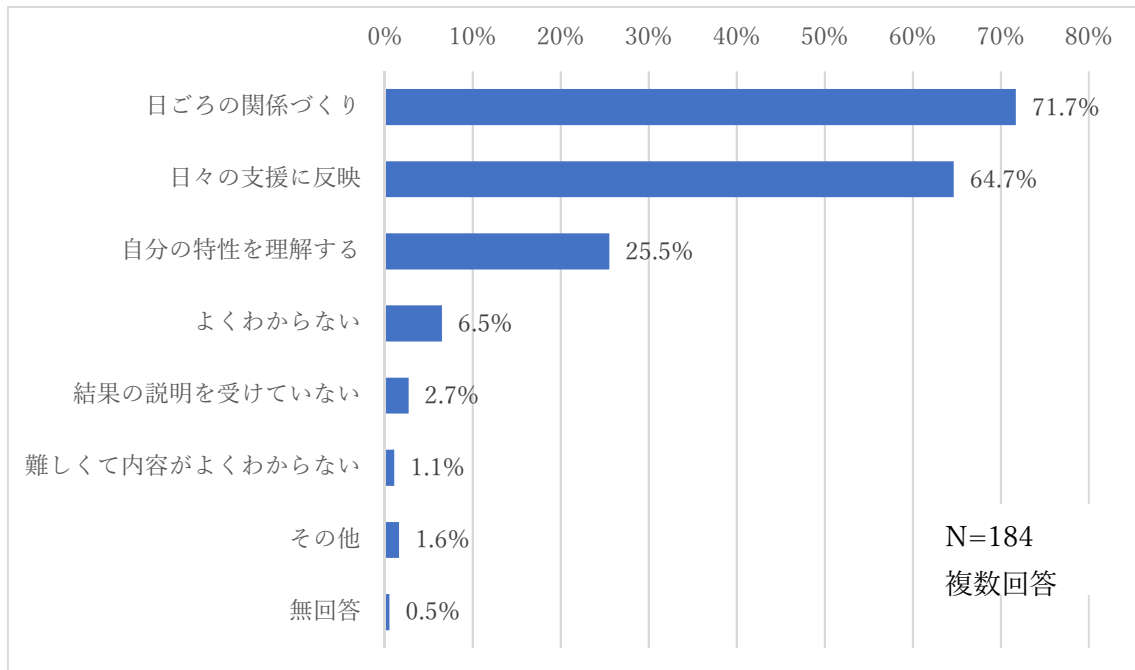
問14 ご本人は自らの発達障害に伴う「感じ方(感覚)」や「周りのことへの理解の仕方」「自分の気持ちの表し方」など(以下「障害特性」と記載)にどのような特徴があるか、専門職の人(医師、発達障害に関する専門機関の職員等)などに調べてもらったことがありますか。

専門職に調べてもらったことがあるかについては、「ある」(73.9%)、「ない」(25.7%)となっている。



副問14-1 問14で「ある」と答えた方におたずねします。調べた結果は、どのように役立てましたか。当てはまるものをすべて選んでください。

どのように役立てたかについては、「日ごろの関係づくり」(71.7%)が最も多く、次いで「日々の支援に反映」(64.7%)、「自分の特性を理解する」(25.5%)となっている。



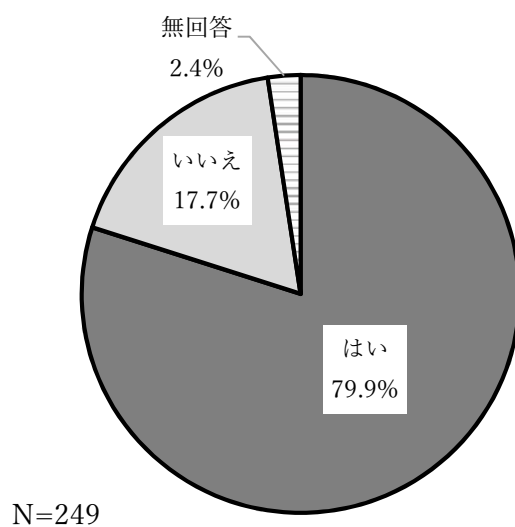
(その他)役に立たなかった。

療育中なので、サポートできるように環境を整える手立てに利用した。

【F 日常生活を支える「基本の手立て」について伺います(その② 日常生活について)】

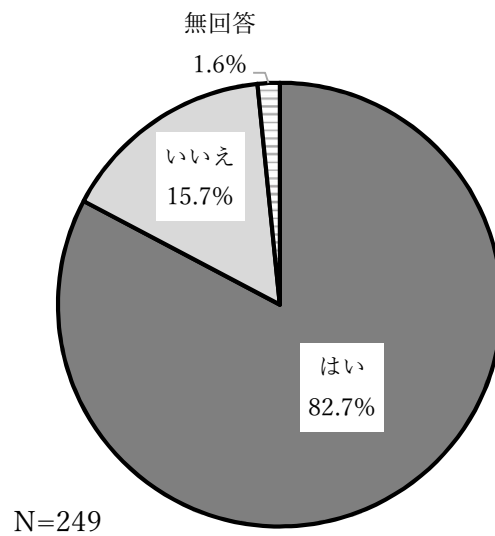
問15 ご本人が日常生活を送る上で特に配慮が必要な障害特性について、具体的に把握していますか。

障害特性を具体的に把握しているかについては、「はい」(79.9%)、「いいえ」(17.7%)となっている。



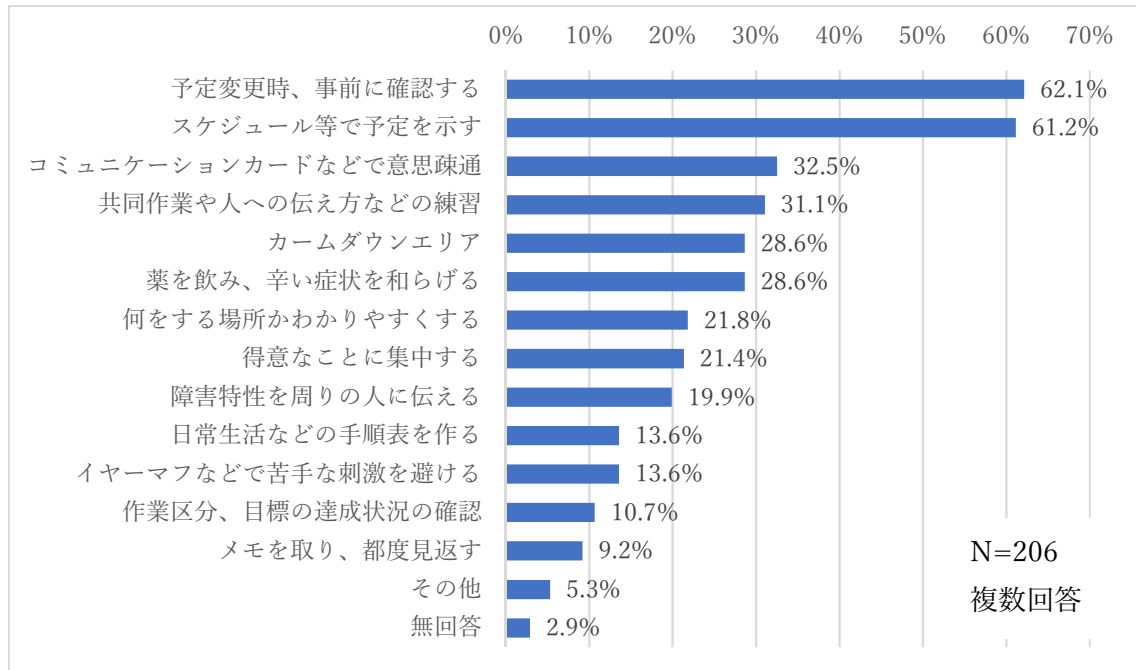
問16 ご本人が日常生活を送る上で特に配慮が必要な障害特性に対して、現在、何らかの「手立て」を行っていますか。

何らかの「手立て」を行っているかについては、「はい」(82.7%)、「いいえ」(15.7%)となっている。



副問16-1 問16で「はい」と答えた方におたずねします。具体的にどのような「手立て」を講じていますか。該当するものをすべて選んでください。

どのような「手立て」を講じているかについては、「予約変更時、事前に確認する」(62.1%)が最も多く、次いで「スケジュール等で予定を示す」(61.2%)、「コミュニケーションカードなどで意思疎通」(32.5%)となっている。

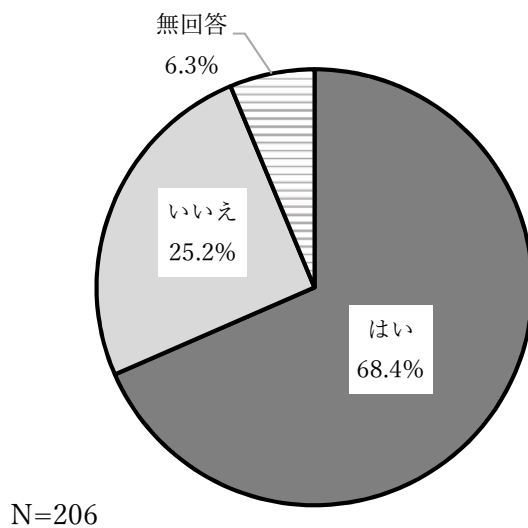


(その他)

- ・本人の希望を聞き、それを尊重するようにしている。
- ・まだ具体的な対応ができるレベルでないため、常に夫婦のどちらかが気を向けて、何かあったら気を落ち着かせるように働きかけている。
- ・2月に療育センターで初診
- ・生活リズムを整える努力
- ・聴覚優位っぽいので、声掛けをこまめにしている
- ・特別支援学級(情緒クラス)
- ・栄養療法、ビジョントレーニング、ライフスキルを行っている
- ・噛み癖があるので噛み噛みグッズを渡している。危険認知があまり出来ないので手を繋ぐようにしている。
- ・デイを週一利用してコミュニケーションの訓練中
- ・起床時間、食事、入浴、歯みがき、就寝時間を本人が決めているので、それに確実に合わせている。

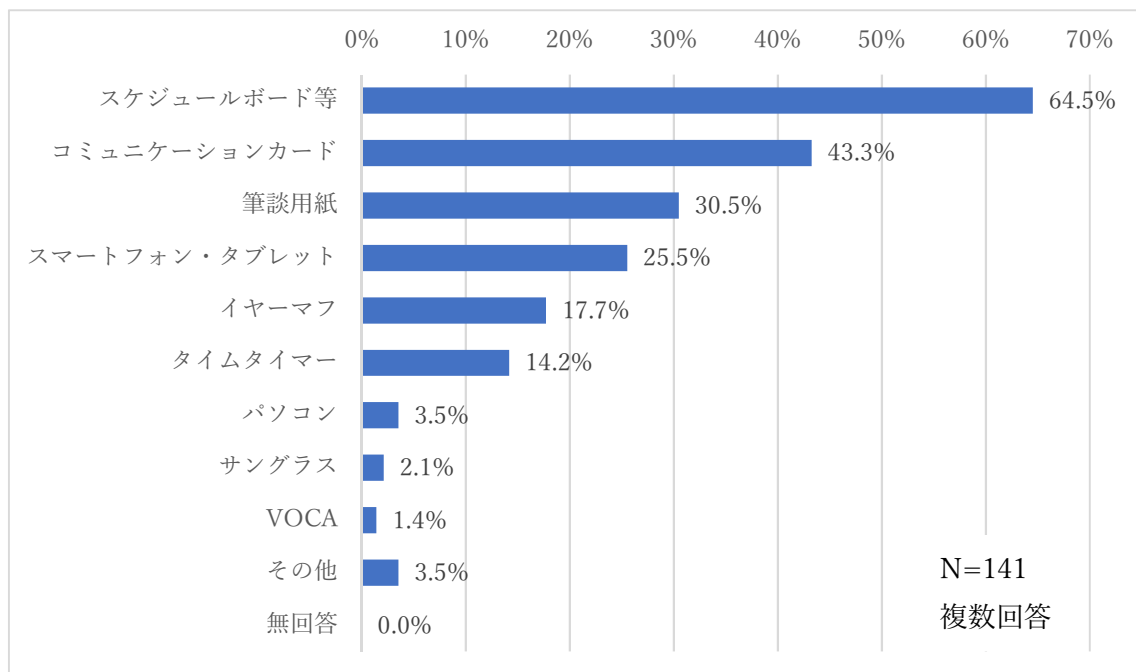
副問16-2 問16で「はい」と答えた方におたずねします。日常生活上の「手立て」を講じるにあたり、ツール（道具や用紙など）を使っていますか。

ツールを使っているかについては、「はい」(68.4%)、「いいえ」(25.2%)となっている。



副問16-2-1 副問16-2で「はい」と答えた方におたずねします。主にどのようなツールを使っていますか。当てはまるものをすべて選んでください。

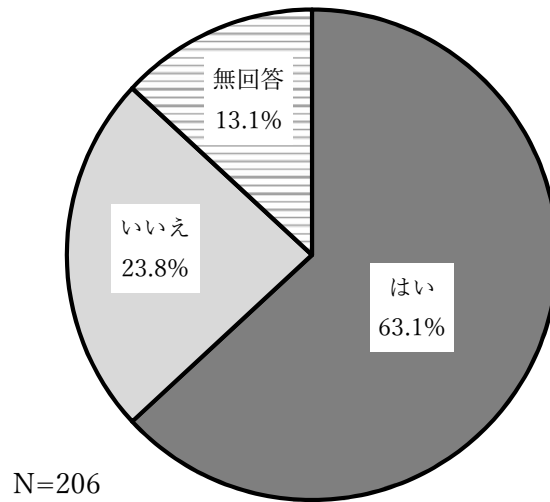
どのようなツールを使っているかについては、「スケジュールボード等」(64.5%)が最も多く、次いで「コミュニケーションカード」(43.3%)、「筆談用紙」(30.5%)となっている。



(その他) 同じ場面などを寄り添って繰り返し納得してもらう、ノイズキャンセルイヤホン、足置き(低い踏み台)、言葉の理解が座る、立つよなど少ない理解なので家族共通の言葉かけ、アレクサ等のAI機器、スマートスピーカー

副問16-3 問16で「はい」と答えた方におたずねします。日常生活上の「手立て」を講じるうえで、難しいと感じることがありますか。

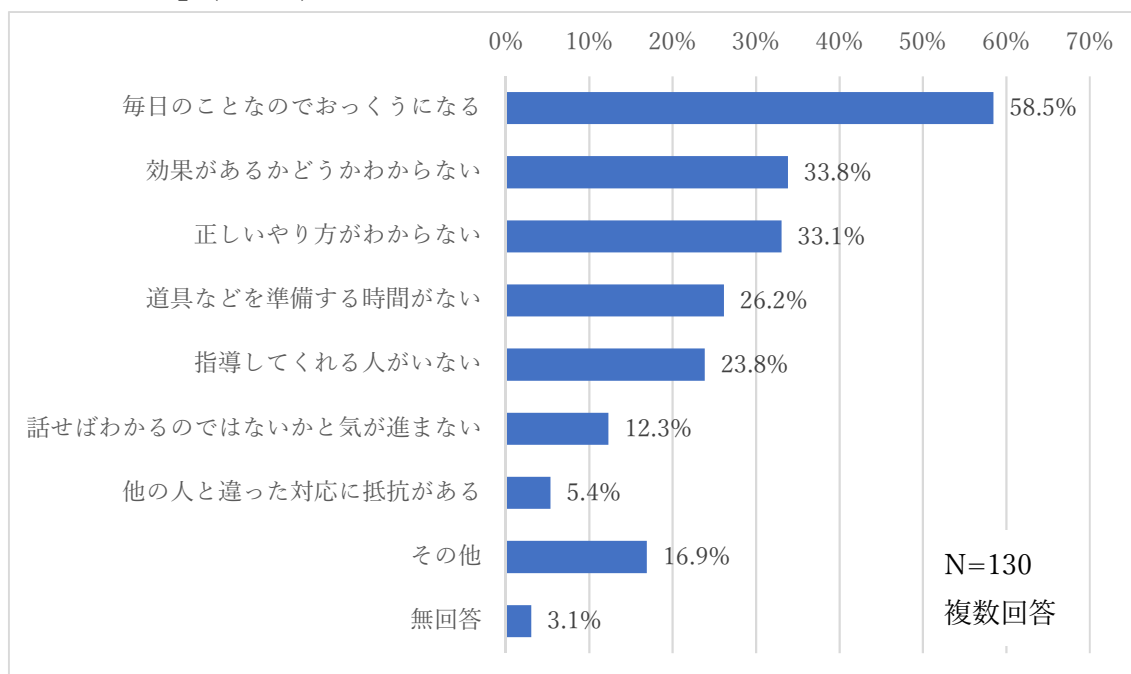
難しいと感じることがあるかについては、「はい」(63.1%)、「いいえ」(23.8%)となっている。





副問16-3-1 副問16-3で「はい」と答えた方におたずねします。どのようなことに難しさを感じますか。当てはまるものを3つまで選んでください。

どのようなことに難しさを感じるかについては、「毎日のことなのでおっくうになる」(58.5%)が最も多く、次いで「効果があるかどうかわからない」(33.8%)、「正しいやり方がわからない」(33.1%)となっている。



(その他)

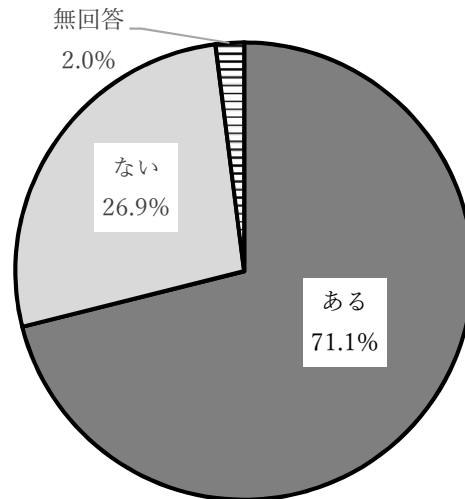
- ・嫌がられるのでこちらが鬱状態になってしまった。
- ・頻度の低い突発的、偶発的な問題への対応。
- ・慣れてしまうと効果がなくなる
- ・いろんな場面で一緒に行動してなにが大変かを探して理解出来るまで付き合うこと
- ・知的障害が重く、本人の発語がないため、どこまで理解しているかがわからない
- ・してほしくない行動をストレスなくやめさせたい時。
- ・すべてタイミングが合うわけではないので、悔しい思いをしていると思うから
- ・待つ時間の長さが分かりにくいので間が難しい
- ・本人の望んでいるものがわかりにくい時があり、事前に予測して動いているが、外した時の本人のショックが大きくパニックになる事。
- ・兄弟や対人関係のトラブルの場合、変更が難しい場合がある。例えば普段は気にならない同居家族の生活音が「うるさい」と感じてストレスを募らせた場合、同居家族は、普段通りの生活をしていて、音を無くす事は難しい。緊急事態宣言や、同居家族の発熱等で自宅待機になった時に、自分は元気なのになぜ自由に動けないのか？とか仕事にいけない事の理解が難しい。工夫とか私の対応で現状回復できないために難しい。
- ・試行錯誤中。うまく行かないときもある
- ・聴覚過敏のためイヤーマフを利用するが触覚も敏感なため長時間は難しい。特定の音は聞こえてしまうことがある。
- ・対応に時間がかかり、その間の他者の冷たい視線や陰口に子どもが反応してパニックが助長することがある。

- ・現在は、学校やデイサービスとの連携が上手くいっているため困っていないが、中学進学も控え、その後も含め、将来的には不安材料が多く課題としてある。
- ・イヤーマフをしても駄目な時がある
- ・うまくいく時もあればいけない時もある。
- ・本人は耳も聞こえず、言葉も出ません
- ・カードやスケジュールなどがない言葉を発せられない。気持ちを伝えられない（言葉）
- ・親の事をなかなか受け入れてくれない

【E 日常生活を支える「基本の手立て」について伺います(その③ 支援体制について)】

問17 ご本人が日常生活を送るうえで必要な手立てについて、医療・福祉・教育・雇用(労働)などの身近な支援者と一緒に取り組んだことがありますか。

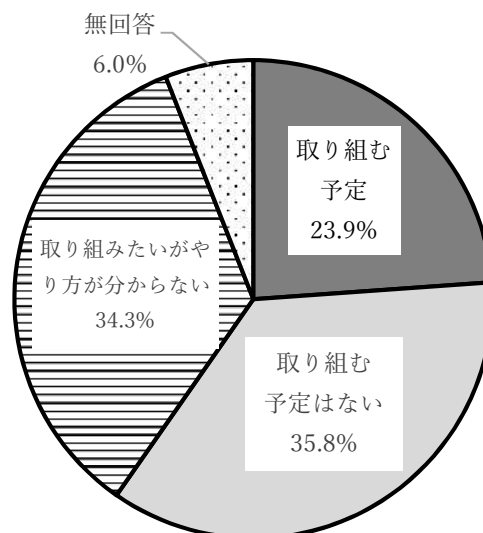
身近な支援者と一緒に取り組んだことがあるかについては、「ある」(71.1%)、「ない」(26.9%)となっている。



N=249

副問17-1 問17で「ない」と答えた方におたずねします。今後の予定について、当てはまるものをひとつ選んでください。

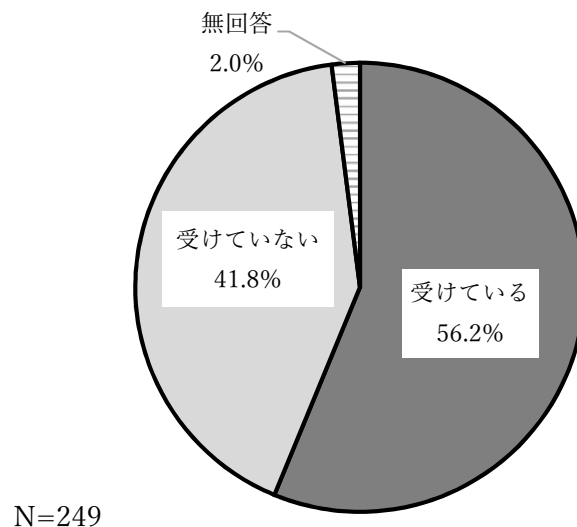
今後の予定については、「取り組む予定はない」(35.8%)、「取り組みたいがやり方が分からない」(34.3%)、「取り組む予定」(23.9%)となっている。



N=67

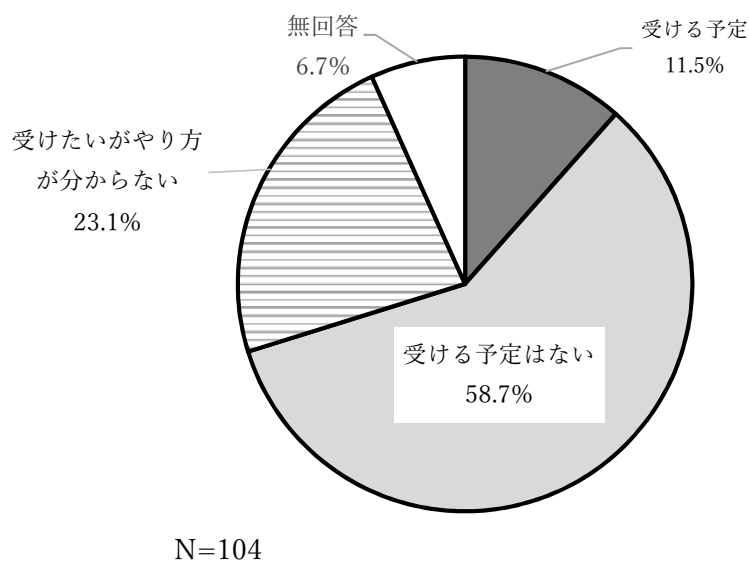
問18 専門機関（病院、発達障害者支援センターつばさ、障害者基幹相談支援センター、子ども総合センター等）から、助言や指導を受けていますか。

助言や指導を受けているかについては、「受けている」(56.2%)、「受けていない」(41.8%)となっている。



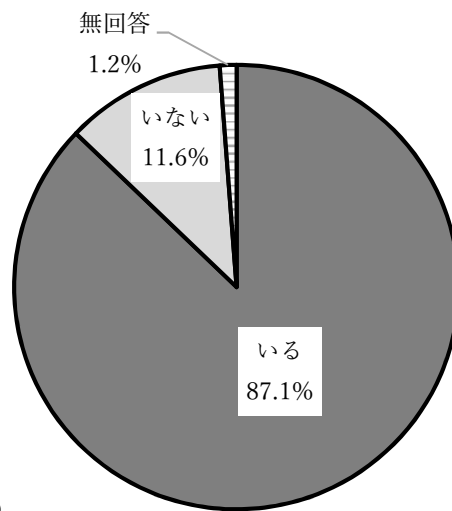
副問18-1 問18で「受けていない」と答えた方におたずねします。今後の予定について、当てはまるものをひとつ選んでください。

今後の予定について、「受ける予定はない」(58.7%)、「受けたいがやり方が分からない」(23.1%)、「受ける予定」(11.5%)となっている。



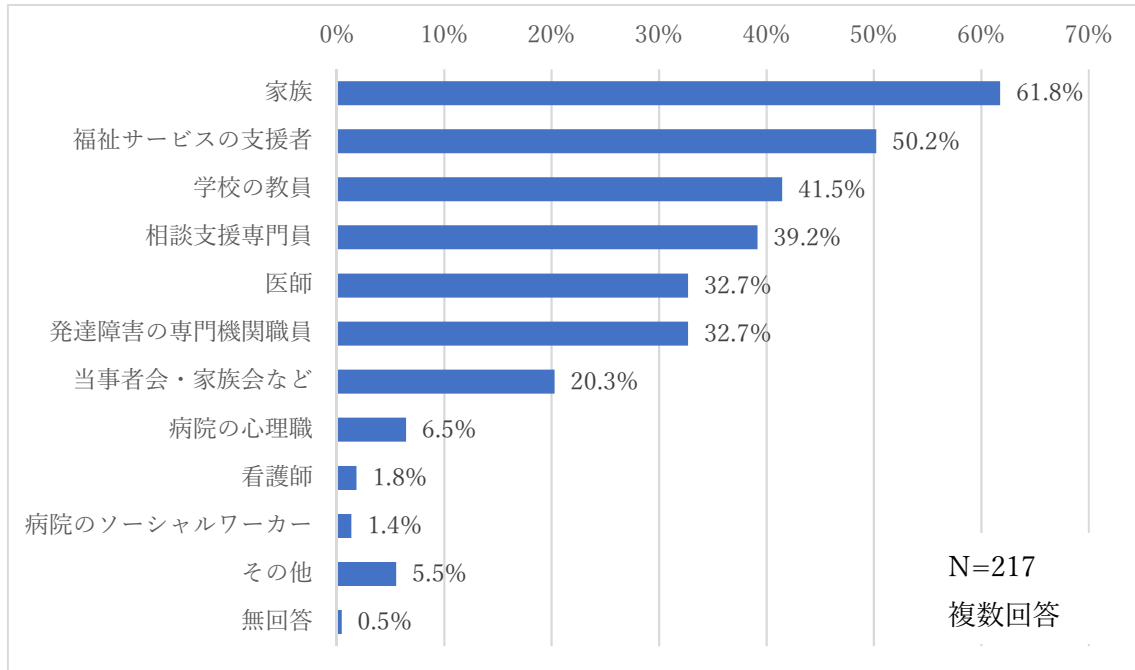
問19 ご本人が日常生活を送る上で、困ったときに頼れる相談相手はいますか。

頼れる相談相手がいるかについては、「いる」(87.1%)、「いない」(11.6%)となっている。



副問19-1 問19で「いる」と答えた方におたずねします。主な相談相手は誰ですか。  
該当するものをすべて選んでください。

相談相手については、「家族」(61.8%)が最も多く、次いで「福祉サービスの支援者」(50.2%)、「学校の教員(41.5%)」となっている。

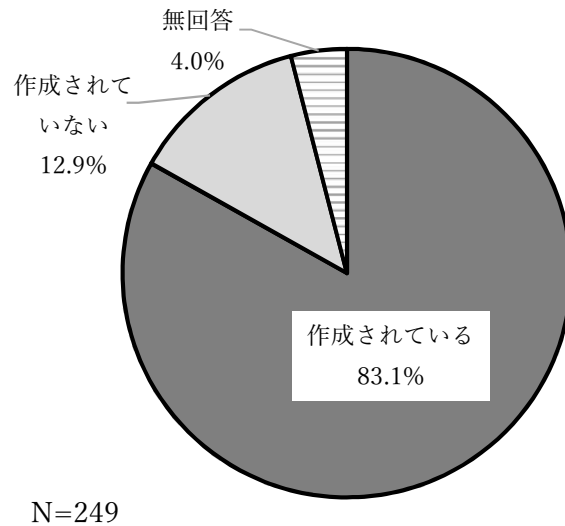


(その他)

- ・メーリングリスト「特別支援教育ネットワーク」
- ・知的障害者(児)、発達障害者向けの支援グッズを製作販売しているおめめどう株式会社さん
- ・デイサービスの職員
- ・福祉事業所のソーシャルワーカー
- ・職場の支援員
- ・元特別支援学校教員
- ・ひまわり学園の先生(2)
- ・相談できる人はいるが頼れるかどうかはわからない。一緒に考えてはくれる。
- ・同じ障害をもつ子がいる友人
- ・母親(2)
- ・本人にあまり困ったという自覚がなく、相談や協力の必要性を感じていない様子で、なかなか改善しない。

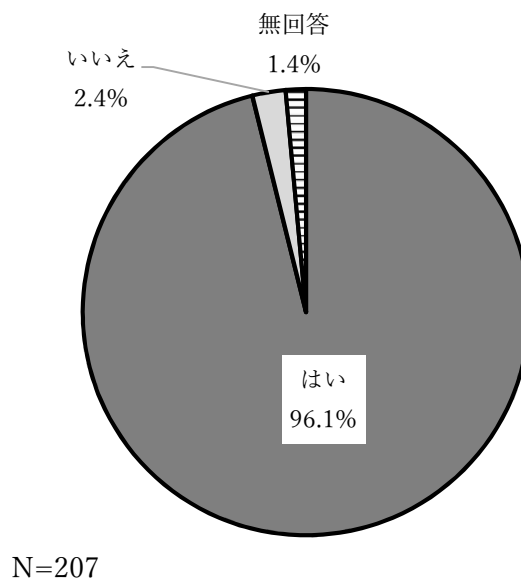
問20 日頃利用されている障害福祉サービス事業所や、教育、雇用(労働)などの支援の場では、個別の支援計画は作成されていますか。

個別の支援計画を作成しているかについては、「作成されている」(83.1%)、「作成されていない」(12.9%)となっている。



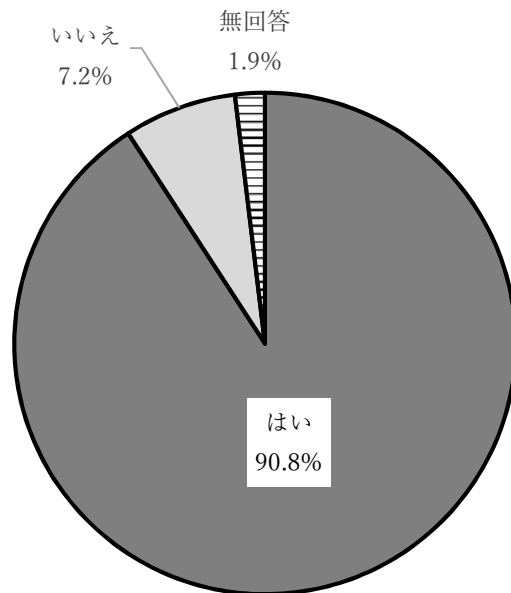
副問20-1 問20で「作成されている」と答えた方におたずねします。作成された計画について、定期的に取り組みの結果を振り返り、その成果や課題を踏まえて内容の見直しがなされていますか。

成果や課題を踏まえて内容の見直しをしているかについては、「はい」(96.1%)、「いいえ」(2.4%)となっている。



副問20-2 問20で「作成されている」と答えた方におたずねします。あなた（回答者）またはご本人は、ご自身の支援計画の作成やその見直し作業に参加して、意見や要望を直接伝えていますか。

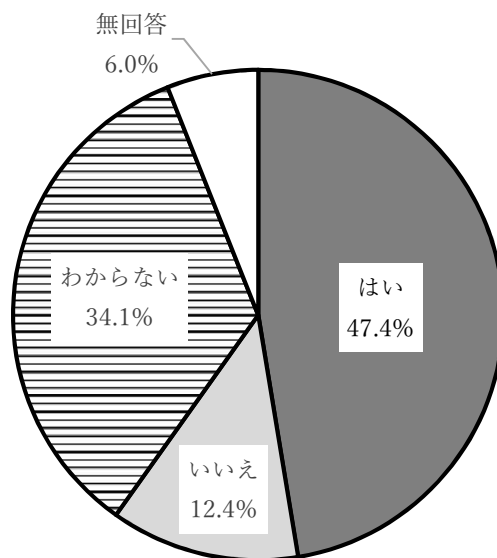
意見や要望を伝えているかについては、「はい」(90.8%)、「いいえ」(7.2%)となっている。



N=207

問21 福祉・教育・雇用(労働)などの支援内容に、専門的な手法が一部でも取り入れられていますか。

専門的な手法が取り入れられているかについては、「はい」(47.4%)、「わからない」(34.1%)、「いいえ」(12.4%)となっている。

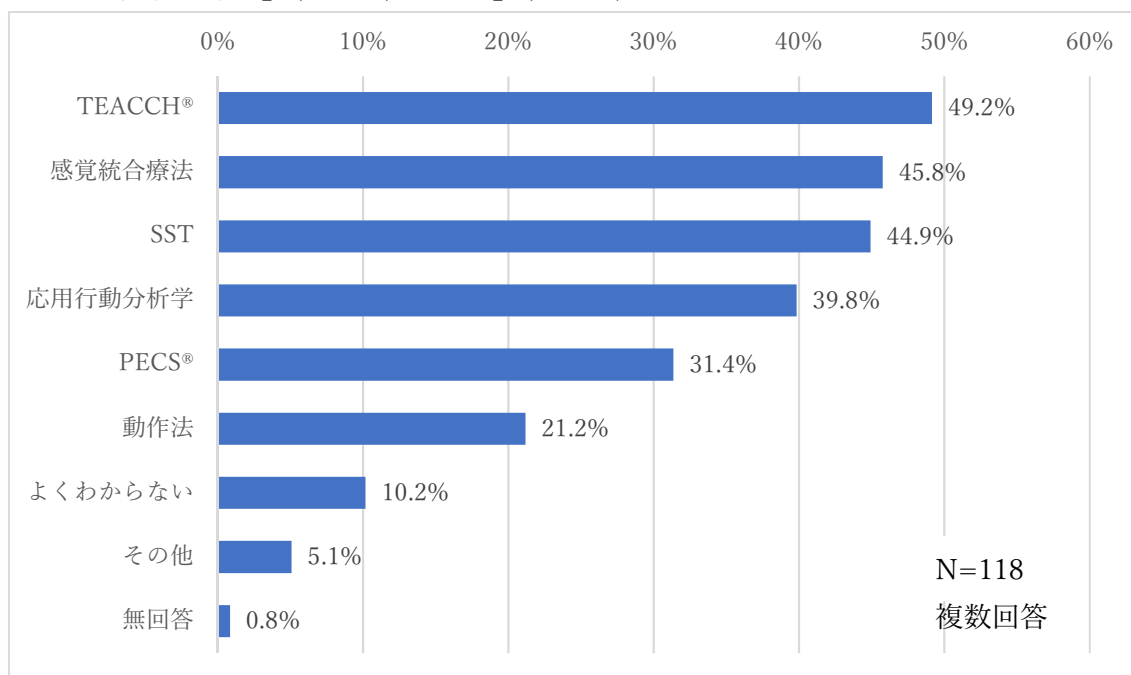


N=249



副問 2 1-1 問 2 1 で「はい」と答えた方におたずねします。どのような手法を取り入れていますか。該当するものをすべて選んでください。

どのような手法を取り入れているかについては、「TEACCH®」(49.2%) が最も多く、次いで「感覚統合療法」(45.8%)、「SST」(44.9%) となっている。



(その他)

- ・自閉症特性であることについて、配慮していただいていると思う
- ・発作記録
- ・おめでとう
- ・言葉カード
- ・始めたばかりなのでこれからだと思う
- ・ドロップトーク

副問 2 1-2 問 2 1 で「いいえ」と答えた方におたずねします。今後の予定について、当てはまるものをひとつ選んでください。

今後の予定については、「取り入れたいがやり方が分からない」(45.2%)、「取り入れる予定はない」(38.7%)、「取り入れる予定」(9.7%) となっている

